

# 第7回大雪山忠別湖トライアスロンひがしかわ 夏走る、緑濃い忠別湖畔で快汗

8月4日、旭岳山麓の忠別湖周辺を会場に開いた「第7回大雪山忠別湖トライアスロンひがしかわ」大会で、全国からエントリーした約400人が緑濃い真夏の湖畔を駆け抜けました。レースが終わった後は、ゴール地点の散策広場で焼き肉、ジンギスカンパーティー。参加者同士で交流の輪が広がりました。(大会成績は24ページ参照)

午前10時、一般の部レースがスタートしました。気温はセ氏21・4度、快晴、水温プラス22度と最高のコンディション。道外参加75人、第1回から連続出場36人、延べ387人のエントリー選手が一斉に湖水に飛び込みました。

この日の最高気温は26・5度。終日照り付けた太陽の暑さに比べて風は微風ながら爽やかで、出場者のレース記録も更新続々。

3年目の夏合宿に来町した東京ヴェルデトライアスロンセッションチームの青木一磨、三沢源輝、木野真造、倉本葵の4選手も特別ゲストとして出場、大会を盛り上げました。

男子優勝は、千歳市から出場して昨年国体予選会の部優勝、総合2位だった久保瑩二輝さん(22)、女子は沢田愛里選手(33) Ⅱ JR北海道Ⅱが大会5連覇を果しました。

## 久保瑩さん、「就職前に有終の美」と断トツのゴール

10月から北海道消防学校に入校するため、今年が就職前最後の大会となりました。

小学校6年生から始めたトライアスロンは18年目。「就職前のひと区切りとして頑張ることができた」と大満足。レース後昨年の優勝者、パークハウス



久保瑩さん、2位ゴールのパークハウスさんとお互いの健闘讃えて

さんと握手でお互いを讃えあいました。「3年間レースを止めていたので、久しぶりに出場した昨年は、得意だった水泳がすっかり泳げなくなっていました」とは言うものの、レースでは2位のパークハウスさんにスイムで約4分半のハンデをつけ、そのまま逃げ切りました。

## 2連覇狙ったパークハウスさん惜敗

「スイムをかなり練習した」と満を持して出場、2連覇を狙って2回目のブライアン・パークハウスさん(43) Ⅱ 道立旭川北高校英語指導助手(ALT)Ⅱは、久保瑩さんから2分30秒遅れの2位ゴール。15年前のカナダ国内デュアスロンチャンピオンとい

う強豪選手。「去年よりバイクが遅かった」と来年の巻き返しを誓っていた。

## 中村さん、今年は夫婦で。町内1位と3位取った!



東川町でトップゴールした中村舞さん(バイク競技1周目折り返し地点で)

3回目出場の中村舞さん(31)は、夫の亮平さん(31)と一緒に夫婦そろって初出場、町内出場組の1位と3位を取りました。

とはいつても、町内からの一般出場は3人。妻の舞さんを師匠に、亮平さんの初出場タイムは総合3時間10分25秒。

「3時間を切ったかったけれど」と残念がると、17分早くゴールしていた舞さんは「私に追いつくのは10年早い」と師匠の突っ込み。千夏ちゃん(2歳)、小雪ちゃん(4歳)2人姉妹の子育ても一段落し、2人そろってレースを満喫しました。

## アスリートフードマイスター、村山彩さん「ここで優勝したい」

アスリートにとって大切な食事の方法を指導する国内初のアスリートフードマイスター、村山彩さん(35)は、今年の大会特別講師として東京から初来町。「トップゴールを目指す」という意気込み通り女子3位で上位入賞しました。

「いやあ、悔しい! もうちょっとだったのに!」。開口一番優勝を逃して悔しがりました。



「今まで出たコースが一番好き!と日本初のアスリートフードマイスター、村山彩さん(スイム後)」

「このコース、とっても好きかも。スイムもバイクも自分の泳ぎができた。今まで出場した中で一番好き。自分はロング主体の大会に出ているけれど、ショートコースに出るならここで勝負したい」とコースにほれ込んだよう。

## 今年の最高齢は68歳中村さん

5年間のブランクを経ての出場は、参加者中最高齢の68歳の田中敏幸さん(札幌)。遠別農業高校長を務めていた52歳当時、初めてオロントライアスロンに挑戦。以来大会に6回出場し、2000(平成12)年、最後の大会にも出場したそうす。

「初の挑戦で自分の人生が変わった。人間を変えることができる素晴らしい大会。今回は膝の内側を痛めていたので心配だったけれど、完走できてよかった。膝が治つたらもっと良い成績を残したい」と来年の再挑戦と最高齢の記録更新を誓いました。

## 俱知安から仲間4人で出場

3位入賞したリッパージェスさん(35)はニセコ町でリゾート開発をしています。初の北海道開催となったアイアンマン・ジャパン北海道(8月31日、洞爺湖主会場)の前哨戦にーとニセコ町から仲間4人で出場、そのトップを切つてゴールしました。「ニセコではトライアスロン盛り上

がってますよ」とこの日の仲間4人そろって出場の予定。一緒に駆け付けた奥さんの有見さん(40)は「双子の予定」という臨月のお腹で応援しました。



俱知安町でチーム仲間のリッパージェスさん(中央)と上原茂さん(47)=右=、二反田恵右さん(39)=左=

## 町内からクロスカントリー少年団5人が初出場で3位入賞

31人がスタートしたジュニアの部に、昨年12月に町内に発足した東川町クロスカントリー少年団から小学生5人が初挑戦。三上龍尚君(8つ) Ⅱ 東川小2年Ⅱが小学校低学年の部で3位入賞しました。

本格的な運動はクロスカントリー少年団に入ってから始めたそうです。初めての挑戦で好成績を収め、日焼けした顔いっぱい満足げな表情。

町内から出場した富田征樹君(12) Ⅱ 東川第三小6年、東神楽町クロスカントリー少年団Ⅱも高学年の部で5位

入賞しました。ジュニアの部では、上富良野町から参加した青野亜斗夢(あとむ)君Ⅱ上富良野中1年Ⅱ、叶夢(かなむ)君Ⅱ同5年Ⅱ、挑夢(いどむ)君Ⅱ上富良野小3Ⅱの3兄弟が各部門でそれぞれ優勝しました。



ジュニア部門総なめ優勝した青野3兄弟

◇コース(忠別ダム湖と湖畔の一般町道を周回する特設コース)

- ▼ジュニア ①スイムⅡ忠別湖畔(親水広場)50歳(1、2年)、100歳(高学年、中学生)
- ②バイクⅡ親水広場周辺の町道2キロ(1、2年生)、同4・7キロ(高学年)、6キロ(中学生) ③ランⅡ500歳(低学年)、2千歳(中学生)
- ▼一般コース ①スイム1・5キロ(1周0・75キロを2周回) ②バイク40キロ(町道折り返し3周回) ③ラン10キロ(町道折り返し3・5周回)